

安心して子どもを産める 受け皿の病院建設を

質問 市長は、新病院建設について先の市長選挙で「新市立病院の建設は市民合意を得てから」とし、市長選挙後3カ月を経過した今日も、実質的に止まっている。新病院建設問題の現状と今後の見通しについて、市長の見解を伺う。また、胆江地区内の妊婦が胆江地区内の病院等で出産しているのは55・8%で、約半数は胆江地区外で出産している。安心して子どもを産み、育てられる地域医療が充実した受け皿としての新病院建設ならば、より市民の理解が得られる。

市長 産婦人科だけでなく医療、介護、福祉全般にわたって、市民の理解と協力がある地域には、素晴らしい先生方を招へいする力があると思う。そのような医療部門が必要だということを標榜するためにも新病院建設は必要だ。

総合支所職員体制の充実を

質問 奥州市の土砂災害警戒区域は252カ所。水沢87カ所、江刺32カ所、前沢7カ所、胆沢19カ所、衣川107カ所であり、うち特別警戒区域は236カ所だ。防災対策、とりわけ総合支



及川 善男 議員(日本共産党)

所の職員体制が不十分ではないか。
市長 地震は即時の対応が必要だが、土砂災害などには対応するまでに一定の時間的余裕がある。どのタイミングで避難警戒情報を出すかは総合支所では出来ない。本庁の危機管理課で対応する。



2017年11月江刺地区内のがけ崩れ現場

これでいいのか。車庫だけの消防屯所

質問 消防団員がやりがいをもって地域を守っていくために、環境整備が重要である。江刺・衣川地域の消防屯所は、休憩スペースや水道、トイレのない車庫だけの屯所が多数あるが、改善すべきではないか。

市長 休憩スペースのない屯所は、江刺地域に30棟、衣川地域に6棟ある。現在、原則として古い屯所から順次、年1棟のペースで更新しているが、今後検討していく。

新たな工業団地の造成を

質問 市内9工業団地の分譲状況と波及効果を問う。

また、堅調な自動車や半導体関連企業の産業集積、国際リニアコライダー誘致実現を見据えた対応が人口減少対策にもつながることから、新たな工業団地造成が必要と考えるが。

市長 立地が好調な江刺フロンティアパークは、残り2区画のみである。未分譲率の高い胆沢の広表工業団地は、スマートインターチェンジ付近



求められる新たな工業団地整備

の団地であり、完売に努める。波及効果としては、昨年度末現在38企業が立地し、967人の雇用を創出。法人市民税の課税額は、平成21年度と29年度の比較で3億7100万円の増となっている。新たな工業団地整備は、適地性などを調べた27年度調査を基に、総合的な観点での検討調査を進める。



明神キヨ子 議員(新興会)